

■ 多言語FM放送 ■ 【防災情報（地震と津波）】

今回の「香夢音 I-PAL」は、地震と津波についてです。

今年2010年は、世界で大きな地震が続きました。

1月には、ハイチ共和国でマグニチュード7の地震が、2月には、チリでマグニチュード8.8の地震が発生しました。これらの地震は大きな被害をもたらし、ハイチでは、建物の倒壊などで20万人以上が亡くなりました。また、チリの地震では、日本から17,000kmも離れた場所で発生した地震にもかかわらず、日本でも津波というかたちで被害が発生しました。

海底で大きな地震が発生したときに、海底が隆起したり沈降したりすると、これに伴って海面も変化し、大きな波となって四方八方に伝わっていくという現象が津波です。

さて、この「津波」という単語ですが、これは世界で通用している日本語の一つだということを知っていましたか？日本は地震の多い国で、しかも周りは海に囲まれていますよね。そのため、津波の被害も数多く受けています。

17年前の北海道では、30mもの高さまで津波が押し寄せた結果、大きな被害を受けました。

私たちの住む香川県の周辺でも今後高い確率でマグニチュード8.4クラスの大きな地震が起こることが予想されています。

香川県は、穏やかな瀬戸内海に面しており、太平洋に面した地域ほど大きな津波は来ないとされていますが、それでも予測では、沿岸部で1メートルから2メートルの津波が押し寄せるとされています。結果、この津波で5万棟の家屋が浸水するという大きな被害が予想されています。

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、後から来る波が前の津波に追いつくことで、波の高さが高くなります。

しかし、水深が浅いところで遅くなるといっても、オリンピックの短距離走選手なみの速さで陸上に押し寄せるので、普通の人々が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合わないのです。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。

COME ON! I-PAL

英

来週は中国語放送ですので、次回の英語放送は再来週4月11日 日曜日の午後8時55分から。「日本語能力試験」についてお送りします。

-

中

来週は英語放送ですので、次回の中国語放送は再来週4月18日 日曜日の午後8時55分から。「日本語能力試験」についてお送りします。